

中高生に読んでほしい！
薬剤師・お薬に関するニュースレター

こ ん ぱ す

Compass

2023年12月 Vol.10

薬学部3年生：小椋、小原、瀧本、中川

薬学生のキャリアパスを考える会2023で 河村茉衣先生 にインタビューしました！



河村 茉衣 先生

岡山赤十字病院 薬剤部 河村茉衣 先生

取得されている専門資格 外来がん治療認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）
日本医療薬学会 がん専門薬剤師



薬学生の時に病院実習先で「がん専門薬剤師」の資格を持つ先生に出会い、専門薬剤師というものがあることを知りました。修士課程では、病院研修でがんに関する症例発表を経験しました。その後、修士課程を共に過ごした同級生たちが専門薬剤師の資格を取得したことを知り、私も専門薬剤師を取得したいと思うようになりました。



どうやったら専門薬剤師になれるの？

- 専門薬剤師 資格取得の条件 - (日本医療薬学会がん専門薬剤師の場合 抜粋※)

- ① 薬剤師として5年以上働いている
- ② 5年以上継続して日本医療薬学会の会員になっている
- ③ 「日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師」や「日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師」等の認定を受けている
- ④ がん専門薬剤師研修施設で5年以上の研修を受けている
- ⑤ 学会が指定する研修会や学会に参加している
- ⑥ 自ら実施したがん患者への薬学的介入を伴う症例報告を50症例提出する
- ⑦ 学会発表を2回以上実施するまたは筆頭著者の学術論文が1報以上が学術雑誌に掲載されている



筆記試験あり！



- 薬剤師として働きだしてからも志を高く持ち、勉強を続けられている姿は、お話を聞いてとてもかっこいい！と感じました
- 専門薬剤師を取得するか、どの専門薬剤師を目指すかは、その人の興味関心だけでなく、環境や人との巡り合わせも大切になってくるのだと感じました



河村先生とSGDの様子

※実際にはさらに詳細にルールが定められている

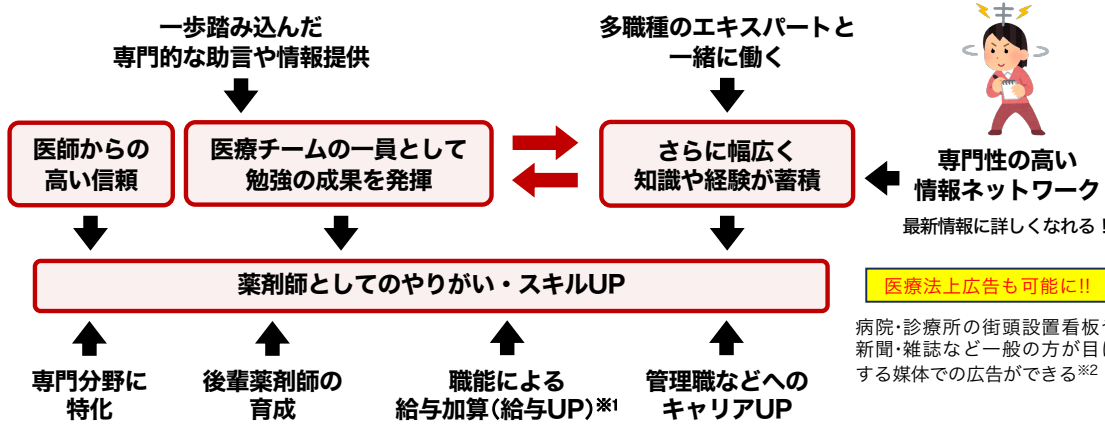


資格取得に向けて専門分野の勉強や学会参加など、プライベートとの両立も大変そう！

専門薬剤師になるとどんないいことがあるの？

専門薬剤師は専門性を活かした薬物療法のスペシャリスト！

私たちが見つけた!!
専門薬剤師
取得の魅力



医療法上広告も可能に!!

病院・診療所の街頭設置看板や新聞・雑誌など一般の方が目にする媒体での広告ができる※2

※1専門職手当等がある病院や薬局の場合 ※2日本医療薬学会 がん専門薬剤師の場合

～ 1日のスケジュール ～



- 8:30 出勤 外来患者さんの抗がん剤は別の場所で薬剤師が調製している
- 入院患者さんの抗がん剤調製(1日5～20件のケモが行われる)
- 11:00 ケモ以外の高カロリー輸液(栄養の輸液)の調製
翌日のケモの準備(入院・外来分両方)
- 16:00 ケモ予定患者さんの事前カルテチェック
翌日のケモの前投薬(吐き気止めなど)のセット
外来から返ってくる注射薬搬送用カートの片付け
- 17:00 業務終了



調製は注射薬をすぐ使用できるように混ぜること！

「ケモ」はchemotherapy(化学療法)の慣用語。化学療法には、抗菌薬治療と抗がん薬治療の2つの意味がある。ケモという場合は、抗がん薬治療を指すことが多いよ！



1日のタイムスケジュールは、専門薬剤師の資格を持っていない薬剤師とほとんど同じだよ！

就実大学薬学部 実に就くプロジェクト

未来を担う薬剤師のプロフェッショナリズム醸成プロジェクト企画



薬学生のキャリアパスを考える会2023

～パネルディスカッションの部～

Q. 専門薬剤師の資格取得で、仕事内容や考え方で何か変化はありましたか？

A. 専門薬剤師の資格を取得する条件に「症例」の提出が義務付けられています。この症例を書くには、病気に対する十分な知識と経験が必要となります。大変な作業ではあるものの、この経験により**自分の知識の蓄えが増やせた**と感じているため、それは大きなメリットだったと感じます。また、専門薬剤師になったことにより、いわゆる資格手当がいただけるようになりました。



専門薬剤師になったから考え方を考えるのではなく、
しっかりした知識や経験があるから専門薬剤師になれるんだね！



Q. 学生時代に戻るなら何をしたいですか？

A. **バイトの経験を積んでおく**ことでしょうか？薬剤師は様々な背景の患者さんと接するため、もしかするとバイトでの経験がコミュニケーションのきっかけになることもあるかもしれません。視野(知識)を広く持つておくことはコミュニケーションにおいて重要だと思います。また、学年が上がるにつれ、就職先についても考えるようになってくると思います。これは専門資格を取ろうと思っている人に関係するのですが、**就職先が専門資格取得に積極的か確認しておく**ことが大切です。例えば、就職先が研修施設先として認められていれば、そこで臨床経験(研修)が積めますが、研修施設でない場合、研修のために長期間仕事を休まないとはいけなくなります。



Q. 今後についてどのように考えていますか？

今後は専門資格取得を目指す後輩の育成に力を入れていきたいと思っています。**後進を育成**することも先輩薬剤師としての立派な仕事です。また、**自分のスキルアップ**にもぬかりなく取り組んでいくつもりです。

講演やSGDを通じて自分たちの将来に向けて考えたこと



講演会では、薬剤師の資格を取得した後に、より専門的な分野の資格(認定薬剤師、専門薬剤師など)を得ることの魅力について学ぶことができました。

講演やSGDでいろいろなお話を伺う中で、たくさんの発見がありました。その中でも、今回のテーマであった**「専門資格を取得すること」については漠然としたイメージでしかなかったものが、少し自分の中に形として見えてきた**ように感じています。まだ就職について考えるには少し早い時期のため、具体的にどの専門資格を取得したいかについてはこれからゆっくり考えていこうと思っていますが、選択肢を絞る際には、今回伺ったお話を参考にしたいです。



患者さんは医師・看護師・薬剤師から同じような問診を受けるため、**「患者さんに何度も同じ話をさせないために、いかにカルテを読み込むか」「質問を変えながら必要事項を確認すること」**が大事になるという話が特に印象に残っています。これらは、私たちが日頃あまり意識できていなかったことで、とても**患者さんに寄り添った考え方**であると感じました。医療従事者として、患者さんの病気を治すことが最優先であると思いますが、余計なところで**患者さんに負担をかけないようにする配慮も必要**ということが理解できました。いろいろなお話を伺うことができ、非常に有意義な機会でした。今後、病院や薬局での実務実習がありますが、その際には今回のお話を思い出し、患者さんに寄り添った言動を心がけたいです。



河村先生、ご講演・SGDでのご指導ありがとうございました！！